



2000.6.9

トリルダンの患者向け説明書の記載内容

薬害オンブズパースン会議
代表 鈴木 利 廣

薬の一般的な特性について

どの薬も人間の身体にとって異物です。いい面（効能・効果）もあれば、わるい面（副作用）もあります。これを上手に使い分ける必要があります。あなたがこの両面を知ることによってこの薬を有効にお使いください。

この薬はトリルダン（テルフェナジン）です。

この説明書の内容について質問のある方は、医師または薬剤師におたずねください。
薬は子どもの手の届かないところに保管してください。

何に効くの？

ジンマシンや花粉症などによるアレルギー症状（くしゃみ、鼻水、涙、かゆみなど）を和らげたり、予防するために用います。

抗ヒスタミン剤とちがいに眠気を生じにくいのが特徴ですが、飲み過ぎは禁物です。

以下のことが当てはまる方は医師または薬剤師にご相談ください

薬のアレルギーはありませんか。トリルダンと同じ系統の薬のアレルギーがある方は使ってはけません。

他に病気はありませんか。肝臓病や不整脈のある方は飲んではいけません。

他の薬を飲んでいませんか。特に、エリスロマイシン、カビや水虫用の飲み薬（ケトコナゾール）精神科の薬（フェノチアジン系の薬、うつ病の薬など）胃腸の動きを高める薬（シサプリド）エイズの薬（HIVプロテアーゼ阻害剤）乳癌の薬（パクリタキセル）などと一緒に飲むと不整脈など生命に関わる重大な心臓の副作用を起こすことがあります。

この薬を飲む方はグレープフルーツジュースを飲んではいけません。

正しい使い方

指示された量、回数で飲むこと。効かないと思っても決してこれを上回って飲んではいけません。上回って飲むととつぜん重大な副作用がおこる可能性があります。

決められた時刻に飲むこと。忘れたら思い出したときに飲んでください。次の服用時刻が迫っているときは1回分とばしてかまいません。2回分をまとめて飲んではいけません。



副作用には要注意

すぐに受診してください！！

〔薬が効きすぎる場合の症状〕

- ・けいれん（ひきつけ）
- ・動悸（胸がドキドキする）
- ・脈が不規則になる
- ・一時的に意識不明になる

〔過敏症状〕

- ・のどの痛み
- ・発熱（一度治まった熱がまた出た）
- ・出血しやすくなった
- ・青あざができる

できるだけ早く医師にお知らせください！

- ・発疹
- ・かゆみ

つぎの症状はあまり心配いりませんが、ひどいときや長期にわたって続くときは、医師または薬剤師に相談してください。

- ・口内がかかわく
- ・痰（たん）が粘り切れにくくなる
- ・眠気
- ・身体がだるい



ここでは特に重要なことだけを書きました。ほかに何か変わったことがあれば、遠慮しないで医師または薬剤師に相談してください。